

今回は、「農業の応援団特別団員」事業の報告です。

## ◇ JAめぐみのより、「農業の応援団特別団員」の委嘱を受けました！

日時： 2022年4月14日（木） 16:40～

場所： 関高等学校

出席者： JAめぐみの代表理事 組合長 山内清久氏

関高等学校 林雅浩校長 代表生徒6名

4月14日、本校は、JAめぐみの（めぐみの農業協同組合）より「農業の応援団特別団員」の委嘱を受けました。県内各地のJAでは、農業をもっと元気にするため「農業の応援団」の取り組みを進めています。農業の応援団には、地元農産物を購入し食べる「食べて応援」と、実際に農産物を栽培する「作って応援」があります。JAめぐみと本校は、自治体や関連事業所と連携しつつ、「せきの未来社会貢献プロジェクト」や「ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト」を通じ、地域農業の活性化を目的とした様々な活動を行っています。

本校がこれまで取り組んできた「校内・米粉レシピコンテスト」や「キウイのタレ・ドレッシング」「まるそらドーナツ」の開発・販売は、「食べて応援」を促進する活動であり、今後も継続して行う予定です。

委嘱式には、同JA山内清久組合長、林雅浩校長のほか生徒の代表6名が出席しました。山内組合長は林校長に委嘱状を手渡し、「JAは農業を通じた地域活性化を使命としている。若い人の活動でJAに力を与えてほしい」とあいさつされました。ほらプロに参加する3年生の田谷ひなのさん、古田実久莉さんは「自分たちの経験を生かして、地元の農産物の良さを広めたい」と意気込みを語ってくれました。7月24日（日）、JAめぐみと関高校は、地産地消をめざす活動発表会を、せきてらすで実施する予定です。



## ◇ JAめぐみと連携したこれまでの活動の一例

### ・米粉料理コンクール（2018～）

関高校の家庭クラブは、地産地消、米の利用促進と水田保護による環境保全のため、米粉の認知普及活動を進めており、2年生徒を対象にオリジナルレシピを募集し、優秀作品を表彰しています。JAめぐみのからは、地域食材活用をはかるため、「とれたたひろば」で使用できる500円分の引換券を提供していただいています。この活動は、2021年7月に開催された第69回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会で、全国2位相当の「産業教育振興中央会賞」を受賞しました。

### ・ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト（2021～）

関高校は、「ほらどキウイ」の生産・販売拡大に取り組む「ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト」（JAめぐみの主催）に協力機関として参加しています。生徒有志が取り組んだ「ほらどキウイを使った焼肉のタレ・ドレッシングの開発プロジェクト」は、JAめぐみのや関係事業所の協力により商品開発が進み、とれたたひろばで販売されています。

### ・Osora（まるそら）ドーナツ（2020～）

関高生と他校生の有志が市内飲食店と連携し、関市の特産品・円空いも（里芋）を生かしたドーナツを考案し、イベントの際に製造・販売しています。